

AIによる外観検査で自動化に取り組んでいるけど、精度が不十分で困っています。



ライティングを工夫することで精度は改善しますよ！



# AIによる外観検査でのライティングの重要性と役割

2021  
12月14日  
Tuesday  
14:00-16:30

対象

外観検査の自動化に関心のある製造業の方

定員

80名（オンライン開催 zoom ミーティング）

参加費

無料

申込

QRコード、URLよりお申込みください。  
<https://www.kri.or.jp/contact/dx211214.html>  
受付完了後、詳細をご登録のメールアドレスへお送りします。



製造業においてAI活用ニーズの筆頭に上がるのが「外観検査」です。「AIによる外観検査」の実現方法は、検査工程や検査対象物によって様々ですが、その成否は、AI活用による検査モデルの「精度」をどこまで高められるかにかかっており、準備する学習データの質と量に依存します。

学習データの準備方法については、いくつかのポイントがあり、その中でも撮像時のライティングが、データの質に大きく影響します。今回のセミナーでは、以下の3点の理解を目的に開催いたします。

- 1 「AIによる外観検査」におけるライティングの重要性
- 2 サンプル画像によるAIソフト利用手順
- 3 具体的なユーザー事例での「AIによる外観検査」の現場実装イメージ

## ライティングセミナー

- ・検査に必要な照明とは
- ・色と波長
- ・明視野と暗視野
- ・平行度

シーシーエス株式会社 MVソリューション部  
MVソリューション課 ライティングコンサルタント  
大久保 誠人氏

## AIラボの紹介

- ・AIラボ利用手順
- ・サンプル画像によるAIソフト利用手順
- ・導入事例紹介

シーシーエス株式会社 MVソリューション部  
AIビジネス営業課  
久保 健豊氏